

令和3年度 「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



佐世保市立世知原中学校



| | |
|-----|----------------------|
| 所在地 | 佐世保市世知原町 栗迎132番地1 |
| 校長 | 野口 昌宏 |
| 生徒数 | 88名 |
| 学級数 | 5学級 |

- 1 学校教育目標 ふるさとを愛し 未来を切り拓く生徒の育成
- 2 校 訓 自主 (自ら学び、ねばり強い生徒)
 創造 (自ら考え、判断できる生徒)
 友愛 (豊かな感受性を持つ生徒)
- 3 テーマ 驚きや感動、価値ある体験活動を通して、コミュニケーション力と情報発信力の向上を目指し、地域とともに進化・活性化する学校づくりを推進する。
- 4 目 的
 - (1) 様々な体験活動を通して、自ら課題を発見し、進んで解決していこうとする態度を育てる。
 - (2) 道徳教育と様々な体験活動との関連を図り、道徳的実践力を培う。
 - (3) 様々な体験活動を生徒自身の手で企画・運営させることで、体験活動の充実を図り、生徒の自主性・自立性を育成する。
 - (4) 学校・家庭・地域社会の連携を図り、家庭・地域の教育力を教育活動に活用する場面を多く設定することで、開かれた学校づくりを推進する。
 - (5) 共に生きる心や感謝の心を育むとともに、助け合うことの大切さを理解させ、コミュニケーション能力の向上を図ることで、望ましい人間関係を構築させる。
 - (6) 以上の取組を充実させ、学校教育目標「ふるさとを愛し未来を切り拓く生徒の育成」の具現化を図る。

5 実践内容

(1) 地域の人材を活用した学習活動

- ① 学習ボランティアによる個別学習支援
- ② 地域の社会体育指導者による保健体育科授業支援（柔道）
- ③ 社会福祉協議会講師による家庭科介護講話（2年）

学習ボランティアには、元中学校数学科教員の地域の方に、週2回の数学科の授業において、苦手な生徒を中心に個別に支援をいただいた。柔道の授業では、地域の柔道クラブで指導されている方に、来ていただき、保健体育科の「柔道」の単元の指導で支援をいただいた。生徒だけでなく柔道が専門でない職員にとっても学ぶところが多くあった。家庭科では、地域の社会福祉協議会と連携して、お年寄りの介護についての学習を専門のスタッフから直接指導（オンライン）を受けることで、実際の介護や世知原の現状を学ぶことができた。新型コロナ感染状況により、実習はできなかったが、十分効果があった。



(2) いのちを見つめる強調月間の取組

- ① 「いのち」をテーマとした校長講話「いのちを大切にするあいいうえお」
「愛（あい）」「命（いのち）」を大切にする。
さらに「縁（えん）」「恩（おん）」を大切にすると
「運（うん）」にも恵まれる。
- ② 「いのち」をテーマとした道德の授業公開
- ③ 「安全なSNS活用について」講話



(3) 平和教育・人権教育の推進

- ① 6.29平和学習集会の開催（講師による講話）
- ② 8.9平和学習集会の開催
- ③ 大刀洗平和記念館への訪問（3年修学旅行）
- ④ 人権学習集会および実行委員による取組

(4) 地域連携の推進（キャリア教育）

- ① ふるさと起業体験学習による株主募集集会（動画の限定配信）
- ② 商品開発アドバイザーによる講話
- ③ ふるさと起業体験学習による開発商品の販売
- ④ 世知原おくんちへの出演（「ソーラン節の演舞」披露）（1、3年）
- ⑤ ドローンによる航空撮影（中学校（生徒・職員）と世知原町の全景）
- ⑥ ふるさと起業体験学習研究発表会
- ⑦ ふるさと起業体験学習事業報告会（株主総会）

⑧ 地域（佐世保市）における人材によるキャリア講話（1年）

⑨ 「ながさきよかこ発表会」参加（オンライン）（2年）

「ふるさとキャリア教育実践事業」により、2年生が中心となり、株式会社「グランドコンフィアンス」を立ち上げた。その中で地域の課題や今後の将来について、深く考え、地域のためにできることを話し合い、地域を題材とした「エコバッグ」と「カレンダー」を制作、販売を行った。その際、1・3年生は、世知原おくちにおけるソーラン節披露を行い、地域を盛り上げるとともにたくさんの集客に貢献した。この事業で得た収益は、株主への配当と地域への寄付とすることで、当初の目標である「地域を活性化する」ことを達成できた。



また、世知原中学校全校生徒と職員、さらに地域の全景がセットになった航空写真撮影を行い、株主へのお礼として地域や保護者、関係者にクリアファイルにして配付した。11月の研究発表会における公開授業では、1年生は、「世知原の良さと課題について考える」取組、2年生は起業体験学習の事業報告、3年生は地域の方を招いて「世知原の未来を考える」パネルディスカッションをそれぞれ行った。2月には、2年生はこれまでの取組を「ながさきよかこ発表会」で県内各地の中学校とオンラインで交流し、ふるさと世知原について発信した。全学年をとおして、「情報収集・分析力」と「コミュニケーション能力」を高めることができた。



(5) 健康・安全学習の推進

- ① 熊本地震に学ぶ防災講話（3年・修学旅行）
- ② 「安全なSNS活用について」講話（全学年）
- ③ 姿勢をよくする講話（1年）
- ④ 性教育講演会（2、3年）
- ⑤ 薬物乱用防止教室（3年）

学年ごとに、プログラムを設定し、成長段階にあわせて実施した。特に3年生での修学旅行先での、防災講演会は、東北大震災、熊本地震を実際に体験された防災士柳原志保先生



から直接話をきくことができ、大変勉強になった。また、「安全なSNS活用について」長崎県メディアの安全指導員 岩崎けい子先生から講話いただき、SNS活用するうえでの注意やルールを保護者とともに学習することができた。